

平成28年度 警察本部当初予算(一般会計)要求の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 28年度当初要求額 | 27年度7月補正後予算額 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------|--------------|--------|------|
| 事業費 | 5,319,873 | 5,285,311 | 34,562 | 0.7% |

I 要求のポイント

1 安全・安心を実感できる暮らしの確立

【基本方針】

犯罪に強い地域社会の確立のため、各種警察活動の拠点となる警察施設の整備や高齢者を中心とした特殊詐欺の未然防止、子供・女性等を犯罪から守る諸対策を推進します。

また、人に優しい安全で安心な交通社会実現のため、交通安全施設の整備のほか、高齢者の交通事故防止に向けた取組等を推進します。

(1) 犯罪に強い地域社会の確立

危機管理機能・警察基盤の充実強化のため、老朽化した大分東警察署の建替及び科学捜査の高度化を図るための鑑識科学センターの庁舎建設に向けた取組を推進します。

また、多発する振り込め詐欺などの特殊詐欺被害から高齢者等を守るため、タイムリーできめ細かな注意喚起情報を発信します。

加えて、自主防犯ボランティア団体等の活動活性化に向けた支援を行います。

(2) 人に優しい安全で安心な交通社会の実現

交通の安全と円滑を確保するため、信号機等の交通安全施設の整備や高齢者に優しい交通環境整備を推進します。

また、高齢歩行者の事故多発地域を中心とした高齢者宅への訪問活動や街頭啓発活動を行うほか、全交通事故の約半数を占める追突事故対策等を推進します。

II 事業体系（県政推進指針）

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

1 安心 ー健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県ー

(5) 安全・安心を実感できる暮らしの確立

①犯罪に強い地域社会の確立

| | | |
|-----|--------------------|---------|
| ├── | 鑑識科学センター整備事業 | 44,603 |
| ├── | 大分東警察署整備事業 | 125,265 |
| ├── | 新 防犯ボランティアふれあい交流事業 | 2,650 |
| └── | 特殊詐欺被害防止総合対策事業 | 19,451 |

②人に優しい安全で安心な交通社会の実現

| | | |
|-----|---------------------|---------|
| ├── | 交通安全施設整備費 | 740,503 |
| └── | 新 高齢者に優しい交通環境整備促進事業 | 46,432 |

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成28年度警察本部部长当初予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a61100@pref.oita.lg.jp (警察本部部长計課)

平成28年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：警察本部)

(単位：千円)

| 事業名 | 平成28年度 当初要求額 (前年度7月補正後 予算額) | 事業概要 | 所管課 |
|-------------------------|--------------------------------------|---|---------|
| 1 鑑識科学センター整備事業 | 44,603 (24,711) | 科学捜査の高度化が進む中、新たな鑑定手法・機器等の導入に対応するため、鑑識課と一体となった科学捜査研究所の建設を行う。 28年度は実施設計を行う。 | 警務課 |
| 2 大分東警察署整備事業 | 125,265 (287,580) | 耐震性を備え災害時にも地域の治安を維持できるよう、老朽・狭隘化した大分東警察署の移転建替えを行う。 28年度は本体工事に着工する。 ・庁舎建設期間 28～29年度 [債務負担行為 1,387,343千円] | 警察会計課 |
| 3 (特) 防犯ボランティアふれあい交流事業 | 2,650 (0) | 地域の防犯ボランティア団体と学生防犯ボランティア団体等が連携して行う通学路防犯環境整備活動に助成を行うこと等により、地域の防犯力の向上と地域安全ネットワークの基盤整備を図る。 | 生活安全企画課 |
| 4 特殊詐欺被害防止総合対策事業 | 19,451 (18,822) | 近年累増している特殊詐欺の根絶を図るため、高齢者を中心とした広報啓発やコールセンターによる注意喚起などの取組を引き続き強化する。 | 生活安全企画課 |
| 5 交通安全施設整備費 | 740,503 (822,552) | 道路交通の円滑化を図り、安全を確保するため、信号機や道路標識など交通安全施設の整備を行う。 | 交通規制課 |
| 6 (特) 高齢者に優しい交通環境整備促進事業 | 46,432 (0) | 高齢歩行者事故の多い県下42地区及び高齢者の利用頻度が高い施設周辺の道路標識等を高輝度化することにより、視認性の向上を図る等交通安全施設の高度化を実施し、高齢者に優しい交通環境を整備する。 | 交通規制課 |

※ (特) は「おおいた地方創生推進事業」

平成28年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：警察本部）

（単位：千円）

| 所管課 | 事業名 | 廃止理由 | 27年度 7月補正後 予算額 |
|-----------|--------------------------|--|----------------------|
| 1 交通規制課 | 交通安全施設整備費 （通学路緊急対策事業） | <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年京都府亀岡市などで連続発生した通学児童の重大事故を受けた通学路緊急対策事業が一定の成果をおさめたことから、緊急の課題として必要性が認められた高齢者事故を抑止する交通安全施設の高度化等の緊急対策を新設 | 72,079 |
| 2 生活安全企画課 | 防犯ボランティア活動支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25～27年度の3か年事業として実施 ・事業効果等を検証し、各種ボランティア団体等の交流を図り地域の防犯力の向上と地域安全ネットワークの基盤整備を目的とした「防犯ボランティアふれあい交流事業」に組み替えて要求 | 4,368 |
| 3 交通企画課 | 高齢歩行者セーフティサポート事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者交通事故防止対策推進事業」と統合し、「高齢者交通事故防止総合対策事業」として取組を進めるため廃止 | 3,681 |